

豊岡市 - 合併前市町の歴史

旧出石町

平成17年4月1日、1市5町(豊岡市、城崎町、竹野町、日高町、出石町、但東町)が合併し、豊岡市が誕生しました。

新庁舎の完成に合わせ、合併までの各市町の歴史を振り返ってみましょう。

《問合せ》出石支所 ☎52-3111

昭和32年9月1日、出石町・室植村・小坂村・神美村(一部)の4町村が合併し、「出石町」が誕生しました。出石町は、山林が町域面積の約8割を占め、耕地や市街地・集落を取り巻き、盆地を形成しています。

昭和30年代には、農林業などの第1次産業が中心でしたが、第2次・第3次産業を中心に就業構造が変化してきました。特に、第3次産業は、昭和40年代と比較すると大きく伸びており、観光産業への期待が高まっています。

年月	主な出来事
昭和32年9月	出石町・室植村・小坂村・神美村(一部)が合併して出石町が誕生
昭和41年10月	松下電器産業株式会社と工場設置の調印式が行われる
昭和43年11月	出石城隅櫓が完成
昭和52年9月	合併20周年記念式典が行われる
昭和54年11月	長野県上田市と姉妹都市連携調印式
昭和55年3月	出石焼が国の伝統的工芸品に指定される
昭和58年10月	齋藤隆夫記念館(静思堂)が完成
平成元年11月	町立伊藤美術館がオープン
平成3年11月	大韓民国慶州市と友好親善交流宣言に調印
平成6年4月	文化会館「ひほこホール」完成
平成6年7月	谷山川放水路完成
平成6年11月	出石城跡登城門・登城橋完成
平成7年3月	保健福祉センター完成
平成8年11月	山名氏城跡(此隅山・有子山)が国の史跡に指定される
平成9年6月	小野川放水路通水
平成9年7月	国道426号出石バイパス全線開通
平成12年3月	室見台ほ場整備事業が完成
平成14年6月	平成6年6月に整備開始の福祉ゾーンが整備完了
平成15年9月	出石川防災センターが完成
平成16年4月	出石城築城400年祭を開催
平成17年3月	出石温泉館乙女の湯オープン

小野川放水路通水式

六方川水系の慢性的な内水被害の軽減のために、10年の歳月と約180億円を掛けて、建設されました。



幹線道路網の整備

国道426号の出石バイパスのうち、日野辺から福住間(2.9km)が開通しました。乙女橋、ほたる橋、出石トンネルが新設されました。



「山名氏城跡」が国指定史跡に

宮内と袴狭にまたがる此隅山城跡と、城下町の南に位置する有子山城跡を合わせた「山名氏城跡」が国指定史跡となりました。山名氏は室町幕府の最有力の大名で、本拠地の但馬に築いた2つの城跡はいずれも中世の城郭の姿を伝える貴重な歴史的遺産です。



出石から日本のステージへ



齋藤隆夫
軍国主義に屈しなかった
「憲政の神様」



伊藤清永▶
絵に生き、画壇に偉大な
足跡を残す現代洋画の重鎮

大韓民国慶州市と友好親善交流宣言に調印

出石の歴史的背景として最も古くから語り継がれているものの一つ、「天日槍伝説」。天日槍は朝鮮半島から日本に渡来した人々が信仰した神様だと考えられ、彼ら渡来人たちが但馬に製鉄をはじめ大陸の先端技術を伝えたといわれています。言い換えれば、日本で最初に記録された国際交流が天日槍伝説です。天日槍を祭る出石神社は、日韓交流のあけぼのの地であるといっても過言ではありません。

平成3年、町はこの伝説にちなみ、韓国の慶州市と友好親善交流宣言を行いました。但馬開発の祖・天日槍は今も人々の心に生き続けています。

新たなスタート

出石町は歴史情緒漂う城下町の面影を色濃く残す観光地として発展してきました。福祉施策の充実、農地の基盤整備、学校教育施設・社会体育施設の整備、文化会館・美術館の建設など素晴らしい町へと着実に歩んできました。しかし、将来の財政計画の見直しや国県の指導も得ながら平成17年1市4町と合併し、新「豊岡市」としてスタートしました。

【表紙写真】「出石お城まつり」が、11月3日、出石地域で開催され、35,000人の来場者でにぎわいました。子ども大名行列では、子どもらが雨の中、真剣な表情で街中を練り歩く姿に見物客らが魅了されていました。

●発行/豊岡市
☎0796623111
FAX2411004
●編集/政策調整部秘書広報課
FAX2411004

〒668-8666
兵庫県豊岡市中央町番4号
URL http://www.city.toyooka.lg.jp

(支所)
・竹野 ☎5247-1111
・出石 ☎5231-1111
・城崎 ☎5442-0001
・日高 ☎5442-1111
・但東 ☎5442-1100